<http://www.acting-man.com/?p=27356>

[**暗号化通貨による革命**](http://www.acting-man.com/?p=27356)

2013年12月12日 | 著者： [Bill Bonner](http://www.acting-man.com/?author=2650)

**暗号化通貨による革命**

ダウは金曜日に16,000超えで引けました。素晴らしい！！これからもずっと、より高く。。。永遠に続くといいですね。読者のみなさん、終了の鐘が鳴ると同時に私の目にも涙が浮かんできます。株価が連日止まることなく上がり続ける幻想が、ため息が出るような高みに達するのを実感して、感慨に浸らざるを得ません。

13年前、アメリカの資本金総額（ダウによって計算されました）は、12,000未満でした。今では、そこから総額の3分の1も上がっています。ちょっと待ってください。13年前といえば、ドットコムバブルの最盛期でした。それ以来、我々は不動産バブルを経験しています。負債のバブルもありました。今に至って、株式バブルが起こっているのでしょうか？

何が起こったのでしょう？GDPは6兆ドル上昇しています。しかし、負債総額は30兆ドルも上がっています。負債が総生産の5倍の速度で成長しているのです！どうして今の経済の資本金総高があの時点より33%も上昇するなんて事態が起こるのでしょう？

売り飛ばしたのでしょうか？それとも買い戻したのでしょうか？古参のRichard Russellは、刺激的なバブル市場の第三段階の始まりにいる、と考えています。火花が上がる瞬間です。崩壊する直前に、価格が天井高を打つ瞬間です。

本当はどうなるんでしょう？誰にもわかりません。なので話題を。。。ビットコインに変えましょう。ビットコインについても、誰もわかっていないのは同じです。ただ、ビットコインについては誰もが一家言を持っています。

**見事なアイデアに対する投機**

スイスの読者がこう書いています。

「あなたは投機家に変わりつつあると感じています。とても驚いたし、失望しました。金から仮想通貨へ立場を変えるなんて。。。気が狂ったのですか？私はヨーロッパで最も裕福な家系のビジネスに向けて、モントレーで会議に参加しています。誰も仮想通貨なんて相手にしていません。どうやって、ある一家が長い間に富を失うのか、についてのセッションを終えたところです。ビットコインも原因の一つに数えられるでしょうね。」

ここではっきりさせましょう。私達は、ビットコインに一家の財産を託すほど、気がふれているわけではありません。投機に関して言えば、私達はアイデアに対してのみ投機を行います。投資対象に対しては行いません。ビットコインはアイデアであり、投機の価値があります。

一方で、もう一人の読者であるThe Atlantic誌のMatthew O'Brienが以下の意見を送ってきました。

*「ビットコインは自由主義者たちがお互いに金儲けを行うためにこしらえたねずみ講だ。金では足りなかったようだね。」*

ねずみ講？はあ？ねずみ講は元締めを必要とします。新しい投資家たちをだまして集め、彼らの金を初期の投資家たちに分配する人間です。ビットコインはそのように運営されているわけではありません。

O'Brien氏はセグウェイとビットコインを同列にみなしているのでしょう。どちらのケースも、大言壮語がまかり通ったのは確かです。セグウェイにしたって、交通手段に革命をもたらしたわけではありませんでした。ビットコインが通貨システムを一新することだって、ありえないかもしれません。

要するに、私達はわかっていないのです。O'Brienにしたってそうです。しかし、彼はわかっていると信じているようです。

「売り手と買い手の間に、クレジットカード会社のような第三者が介在しない決済システム、という点が革新的だ。*何かを買うということは、何かを信じるということだ。売り手が商品を約束どおりに届けると、信じることになる。そうでなければ、返金を要求するだろう。クレジットカードやペイパルのような金融仲介業者の役割はそれだ。彼らは売り手と書いてが両方信頼できるかどうかをチェックし、問題があれば調停を行う。*

*何か問題がおこればお金がそのまま戻ってくる、ならよかったのだが、実際は無料とはいかない。仲介業者が手数料を取っていく。しかし、ビットコインには仲介業者がいない。権力分散型のピアツーピアシステムにすぎないからだ。つまり、何か問題が起こってもビットコインは元に戻らない代わりに、手数料も発生しない。問題は、今傍観者でいる人々が、このトレードオフを受け入れるかどうかだ。*

*ビットコインを既に所持している人々だって、使う理由がない。ビットコインを持っていない人々は、所有する理由がない。そういう人たちは、価値がいつ何時変動するかわからない通貨など欲しくはない。彼らは匿名で買い物をしようとも思わない。また、彼らは取引をやり直せない事態も避けるだろう。（ハッカー攻撃に遭ったりしたら、ますますそう思うだろう。）*

*理想的なアイデアは、常に最初は妄想のように聞こえる。しかし、妄想的だからといって、その後大きく広がるとは言えない。歴史的には、セグウェイのような例はいくらでもある。しかし、素晴らしくもださいセグウェイだったが、少なくとも何かの役にはたった。何の努力もせずに歩道をずんずん進んでいけたからだ。そんなことをしたい理由がわからないが、とにかくできた。でも、ビットコインでは何ができる？本物の、あるいはゲームの、ギャンブルには使える。何も保証してくれるものがないので、価値はどんな額にでも化けるだろう。ビットコインの価値が36000だろうと36だろうと、どちらもあり得る。ブームに後から参入した人々から巻き取って、金儲けするには適しているだろう。でもそれ以外にはほとんど見るべきものがない。」*

哀れなO'Brien氏には想像力が欠如してます。電話が発明された時も、彼ならこう言ったでしょう。「誰がこんなものを欲しがるんだ？受話器を受け取る相手がいないと機能しないじゃないか。それに現時点で、北米にはたった109箇所しか通話できる場所が用意されていない。」

どんな発明も、当初は価値が不明です。価格は激しく変動するでしょう。すぐに使う方法だって、限られているはずです。

ほとんどのイノベーションは失敗します。でも、生き残るものもあります。ビットコインは成功する、と私達だって断定するつもりはありません。明日にでも、崩壊して壊滅する可能性があることはよく承知しています。それでも、仮想通貨（暗号化通貨）の可能性は、電話と同じように、革新的なのです。

**ビットコインは不換紙幣ではなく、自由市場の通貨である**

Joel Bowmanのビットコイン擁護論に耳を傾けてみましょう。私達が実際に会ったことのある、唯一の採掘者です。

「*この話題に関しては、賛否両論のメールがたくさん寄せられているだろう、と想像しているよ。この実験の結果として、少なくとも僕達は、通貨に関して僕達が知っていると思い込んでいた「真実」がぐらつく経験をするはずだ。*

*「実体通貨」を信望する人々から僕が心理的抵抗に遭うとき、ビットコインは本質的な実体を持たない、と言われる。（読者の中にもこういう人がたくさんいるんじゃないかな。）彼らは大前提的に、それでは駄目だ、と決め付ける。*

*彼らの議論は、「不換紙幣」と「実体を持たない」を同一視している点で破綻している。後者と前者は同じだと思い込んでいるわけだが、それは単純に、正しくない。むしろ、これは古典的な演繹の罠だ。全ての不換紙幣は実体を持たない。従って、全ての実体を持たない通貨は不換紙幣だ、と言いたいんだろう。古い例を出せば、「親指は全て、指である。従って、全ての指は、親指である。」となる。*

*それは間違っている。*

*実体を持たない通貨が全て不換紙幣とは言えないのは、ビットコインが実証している。不換紙幣とは、国家によって価値が保証されているから、通貨には価値がある、と宣言することだ。（ラテン語に即して言えば、「そうなるはずだ」となる。）ビットコインはそれとは全く違う。ビットコインは主観的な価値にのみ従う。つまり、自主的に参加した個人たちが、通貨の特性を考慮して、目の前の文脈（デジタル文脈など）に即して、交換用の仲介物としての有効性を決めて、通貨の価値を決定している。法令、強制、暴力によって価値が決定されるのとは正反対なんだ。価値は、市場が自主的に決定する。*

*実体通貨支持派が国家を信用しないのは当然だ。インフレを起こして購買能力を奪ってきた長い歴史があるからね。でも、堕落した不換紙幣の考えにとらわれて実体のなさに早々に見切りを付けるのは間違っている。僕達がとても価値を認めているけど、実体を持たないものはいくらでもある。数学、言語、論理、アイデア、愛。。。もっともっと考え付くだろう？*

*ビットコインに実体がないという事実は、直感に反して、ビットコインの最も魅力的な特性の一つとして考えられる。例えば、貯蔵のコストが実質的にゼロになる。輸送のコストについても同じだ。輸送時間についても同じだ。連邦準備制度理事会がなんと言おうと、非合法化するのはほぼ不可能だろ思う。（金を個人で所有するのは、非合法にできるけど。）規則を書くのは自由だけど、それを強制するのは英語や代数、それに近所の奥さんによからぬ妄想を抱くのを禁止するようなもんだ。*

*ある意味、ビットコインは「通貨の言語」のようなもんだ。誰にだって等しく利用できるという意味で、平等主義だ。（特定の少数にビットコインを分け与えるような中央当局は存在しない。でも、地球上の全ての不換紙幣はそうなっている。）進化して、環境に適応することもできる。（プロトコルがオープンソースだから、可能になる。）何百万の個人（市場）が自由に意見を交わして価格を設定するから、民主的でもある。誰もが、自身のビットコイン財布を通じて「投票」できる。（連邦準備制度理事会にいる頭でっかちな人間が決定しているような、詐欺的な通貨の価値決定に比べて、新鮮な対比だと思う。）完全に透明であって、ビットコインクライアントソフトをダウンロードすれば誰でも、全ての取引記録を参照できる。でもプライバシーも守れる。周りの目から、自分の身元を隠すのは比較的簡単だからね。*

*個人間で情報をやり取りしたり、秘密の取引から全体のネットワークへ配信したりと、言語とほぼ同じように機能するよ。デジタル時代のデジタル通貨だと言える。もちろん、これからどうなるかは誰にもわからない。何もわからない、という点だけがはっきりしている。誰かが最近言ったように、ビットコインはゼロに向かうか、たくさんのゼロが後に続くか、どちらにもなりうるよ。」*